

和歌山だよいい

平成25年 (2013) 7月号



那智の田楽 (那智勝浦町)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス… P2～P11
3. ふるさと歳時記…………… P12～P13

那智の田楽は、毎年7月14日に行われる熊野那智大社の例大祭「扇会式」(「那智の火祭」：和歌山県指定無形民俗文化財)において、国土安泰や豊作を祈り奉納される神事芸能で、今から600年以上前の室町時代に京都から田楽法師を招き、始められたと伝えられています。平成24年12月、日本国内では21件目、和歌山県では初めてのユネスコ無形文化遺産登録となりました。



「クールビズ」

今年も和歌山県庁ではクールビズをしています。ほとんどの原発も止まったままなので、夏の電力事情も楽観はできず、県民の皆様にも全体で平成22年度比マイナス9%を目安とした節電をお願いしている中、「県庁の冷房もうんと少なめにするため、暑さに耐えるように軽装で勤務をすることをお許してください。」というのがクールビズであります。

先だって関西広域連合の知事、政令指定市長の集まる委員会で、門川京都市長から、「世間ではクールビズというネクタイを取ることと思込んでいるようだが、止めてほしい。我が西陣の業界では夏用の涼しいネクタイも作っているのだから。」という発言がありました。ごもっともです。クールビズは『クール(cool)＝涼しい』と『ビズ(biz)＝ビジネス』を合成した和製英語で、軽装で涼しく過ごすということで、ネクタイを取ることではありません。もっとも私もよく県庁の職員に「クールビズですからネクタイを取って下さい。」と言われました。

それでは何故「クールビズ」の時ネクタイを取れという話になるかということ、礼儀が絡んでいるからです。普通お客様をお迎えする時に我々は失礼にならぬように服装にも気を付けます。スーツぐらいは着ていくべきだという場に、いくら暑いからと言って主催者が何も言わないで、自ら軽装でいるのはお客様に失礼です。だから、本日はクールビズをしていますから、お客様もご遠慮なく軽装でお越し下さいと言うのが礼儀です。礼儀では、そう言われているにもかかわらず客の方がよりフォーマルな服装で訪問するのは何ら失礼ではありません。逆にフォーマルな服装の指定をされている時に客がより軽い格好をしていくのは失礼なのです。時々、お客様には気を遣ってクールビズでどうぞお越し下さいと言いつつ、主催者がお客様に失礼にあたるからとフォーマルにきめている場合がありますが、これはお客様が「あ、自分は軽装で来て主催者に失礼なことをしてしまった。」と申し訳ない気分になるもとなりますから、実はあまり良くないのです。要は、主催者がスタイルを決め、自らがそれに従っていればよいのです。クールビズでも何でも形よりは心かもしれません。クールビズでどんどん涼しく仕事をしましょう。



6/3 定例記者会見にて

●切目川ダム定礎式が行われました

・県では、切目川流域の洪水被害の軽減、流水の正常な機能の維持及び印南町における1日最大1,000立方メートルの水道水の供給を目的に「切目川ダム」を建設中です。

・平成3年度に事業着手し、平成25年2月からダム本体にコンクリート打設を開始していましたが、ダムに礎石を納め、ダムの永久堅固と安泰を祈願するため、6月2日、印南町の建設工事現場において定礎式を開催しました。



冒頭、仁坂知事は、「ダムが完成したら台風12号の時のような悲惨な状況はなくなり、また、日照りの時には十分な水が供給出来る。これまで御努力、御協力してくださった方々のご苦勞に心から感謝申し上げたい。」と挨拶しました。

・今後、工事は最盛期を迎えますが、安全対策に万全を期して、平成26年度の完成を目指します。



切目川ダム完成イメージ図



下流からダムサイトを望む(平成25年4月)

●洪水情報を充実しました！

・紀伊半島大水害を踏まえ、洪水に対し早めの避難判断をしていただけるよう洪水予報等の洪水情報を充実しました。

・洪水時には、これらの情報とともに気象情報や自治体の避難に関する情報等に注意のうえ、早めの避難行動をお願いします。

○洪水予報河川の拡充

熊野川(日足、本宮区間)で新たに指定河川洪水予報を開始するとともに、既に実施中の有田川と日高川では、洪水予報区間をそれぞれ二川ダム、椿山ダム地点まで拡大しました。

○水位周知河川に那智川を追加

那智川を新たに水位周知河川に指定し、水防活動の判断や住民の避難行動の目安となる「避難判断水位」等を設定し、当該水位に到達した際に、関係市町村等へ通知するとともに、報道機関等を通じて住民の方々に周知します。

○ダム情報の充実

県内の気象情報や河川水位情報などの防災情報を配信しているテレビ和歌山のデータ放送「あんぜん情報24時」にダム専用ページを新設し、ダムの貯水位や放流量のほか、放流状況やダムからのお知らせをわかりやすく提供します。



●和歌山県発明考案表彰式を開催しました

・県では発明考案思想の高揚を図り、県産業の発展に寄与することを目的として、優れた発明、考案等によって科学技術の改善向上に貢献した県民の皆様の功績をたたえ、知事表彰を行っており、6月4日、表彰式を開催しました。

・受賞された方々は以下のとおりです(順不同・敬称略)。



○発明賞(優秀な発明等により科学技術の向上に寄与し、県産業の振興に貢献した方)

氏名	勤務する会社	発明の名称
今川 良成 湯倉 成樹	ヤマホ工業(株)	部材継手とそれを用いた噴霧ノズルユニット
加藤 浩司 東山 恵章	築野食品工業(株)	低変性脱脂米糠の製造方法
中原 照之	(株)中原製作所	化粧板

○創意工夫功労賞(優れた創意工夫によって生産技術の向上等に貢献した方)

氏名	勤務する会社	発明の名称
川端 康仁	スガイ化学工業(株) 和歌山工場	工学的手法を用いた製造条件探索による農薬中間物収量の向上
木戸 崇之	太洋工業(株)	高精細エッチング加工品の良品率向上
納屋 昇吾	小西化学工業(株)	ボトルネック解消による生産性の向上
西山 健一	富士化学薬品(株)	異物混入防止対策

●わかやま環境賞表彰式を開催しました

・「わかやま環境賞」は、環境保全に関する実践活動が他の模範となる団体又は個人を表彰し、その活動事例を広く県民の皆様に紹介することにより、環境保全に関する自主的な取組を促進することを目的として平成14年に創設しました。

・今年で12回目となる表彰式は、例年どおり世界環境デーと定められた6月5日に正庁で開催しました。

・受賞された方々は以下のとおりです(順不同・敬称略)。



○わかやま環境賞(優れた環境保全活動を行う方)

団体名	所在地	取組内容
大塔小中一貫教育研究委員会	田辺市	大塔中学校の校区内における環境学習を通じた美化活動
社会福祉法人つわぶき会 つわぶき授産工場	和歌山市	地域と連携した廃食油の回収とバイオディーゼル燃料精製
和歌山県コンクリート製品 協同組合	和歌山市	高炉徐冷スラグを100%使用したコンクリート製品の開発

○特別賞(環境賞に準じ、優れた環境保全活動を行う方)

団体名	所在地	取組内容
柱本クラブ(森を守る会)	橋本市	長年にわたる柱本区域における美化活動や緑化活動

●スポーツ版わがまち元気プロジェクト第1弾決定！

・地域固有の資源を活用し、個性豊かで活力ある地域づくりを推進する「わがまち元気プロジェクト」では、今年度から「スポーツを核としたわがまち元気プロジェクト」に重点的に取り組むこととしていますが、第1弾として、上富田町及び上富田町スポーツ観光推進協議会が実施する「上富田町スポーツ振興ステップアッププロジェクト」への経費の支援を決定しました。

<概要>

○現状と課題：同町は、サッカー・ラグビーが可能な球技場3面や野球場を備えた上富田スポーツセンターを有し、今後、国体開催による知名度上昇や高速道路開通による利便性の向上が期待できる。しかし、大会や合宿を誘致するための仕組みがなく、また、チームが来ても町内の滞在に直結しないなど、町内経済への波及が乏しいことが課題。



上富田スポーツセンター

○取組の概要

- ・京阪神等の大学・高校チームの合宿誘致活動
- ・民間サポーター(ボランティア)の育成と合宿チーム等への各種サポート活動
- ・宿泊業者によるおもてなしの向上や合宿めしの開発
- ・紀州口熊野マラソンやプロ野球ウエスタンリーグ等大規模スポーツイベントの継続開催

○目標：スポーツセンター利用者の増加と地域内消費を喚起し、「和歌山県南部における合宿地の拠点」を目指す。

目標数値	スポーツセンター利用者数	5万人(平成23年)→	6万人(平成28年)
	地域内消費額	1.9億円(平成23年)→	3.6億円(平成28年)

●サッカーJリーグのジュビロ磐田が和歌山で合宿を行いました

・6月3日から6月9日にかけて、和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場において、サッカーJリーグのジュビロ磐田が合宿を行いました。

・6月4日の歓迎セレモニーにおいて、仁坂知事は、「熊野古道は、調子の悪いときに巡礼するとリフレッシュするよみがえりの地。後半戦はぶっちぎりの成績を収めて。」と歓迎の挨拶と激励の言葉を述べ、熊野牛40kgや県産の果物等を贈呈しました。一方、山田大記チームキャプテンは、「素晴らしい環境を整えてもらったので、強くなった姿で恩返ししたい。」と後半戦に向けての巻き返しを誓いました。



・また、6月8日には、元日本代表で現ジュビロ磐田アドバイザーの藤田俊哉氏を指導者にお迎えし、県内中学生の選抜チームらを対象にサッカークリニックが開催されました。指導を受けた子どもたちは、平成27年開催の「紀の国わかやま国体」の少年の部において、主力としての活躍が期待されます。

・なお、日本代表チームに参加していた海南省出身の駒野友一選手も8日からチームに合流し、サイン会や記念撮影など多くのファンの声援に応えてくれました。

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催に向けた広報・県民運動について

- ・2年後に開催を控えた「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」を成功させるためには、県民一人ひとりの力を結集して、開催準備や大会運営に取り組む必要があります。
- ・県では、県民総参加の両大会を目指して、すべての県民が積極的に参加していただけるよう、全県的な県民運動を展開してきましたが、新たに以下の取組に係る募集をします。

○ボランティア運動

全国から訪れる選手・監督等を温かくお迎えし、両大会の開・閉会式や大会の競技運営等を支えていただくボランティアを募集します。

ボランティアに応募いただいた方には、登録証を交付するとともに、活動に必要な研修を実施します。

募集種別	運営ボランティア	情報支援ボランティア	
活動内容	両大会の開・閉会式及び大会の競技会場における来場者受付・案内、会場美化、式典運営等の業務補助	聴覚障害のある選手・役員や観客等の方々に対して、式典・競技会場や駅等での情報支援	
募集人数	約 4,900 人	600 人	手話 300 人 要約筆記パソコン 100 人 要約筆記手書き 200 人
募集期間	平成 25 年 9 月 3 日～募集人員に達するまで	平成 25 年 9 月 3 日～平成 26 年 3 月末	
募集要件	平成 15 年 4 月 1 日以前に生まれた方 (ただし中学生は保護者の同意が必要)	平成 9 年 4 月 1 日以前に生まれた方	

○花いっぱい運動

両大会が開催される2年後に、まちを花や緑でいっぱいにして、来県者をお迎えするため、花いっぱい運動を展開します。

今年度から、県民の手から手へと引き継がれ、育てられた花で、まちや会場施設等を飾る「花のリレー」の取組がスタートしました。

花のリレー概要	農業系課程のある県立高校等が種から育てた苗を、小・中学校、高校、花づくり団体等が受け継ぎ、咲かせた花で、まちや会場施設を花いっぱいにします。
参加状況	平成 25 年度：203 校、3 機関、97 団体、30 市町村
今後の展開	両大会が開催される平成 27 年度には、県民総参加で来県者をお迎えできるように、来年度以降、学校や花づくり団体をはじめ、県民の皆様の積極的な参加をいただき、取組を拡大していきます。

○開・閉会式アイデア募集

「開・閉会式でこんなことができる。こんなことがしたい。」全国に和歌山の魅力を発信するため、広く県民の皆様から開・閉会式に係るアイデアを募ります。



2015 紀の国 わかやま国体



2015 紀の国 わかやま大会

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度に係る感謝状贈呈

・この度、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会企業協賛制度における協賛企業が以下のとおり新たに6社決定し、6月18日、感謝状を贈呈しました。(公益社団法人和歌山県トラック協会へは、6月19日に贈呈)

・仁坂知事は提供いただいた各企業・団体に、「ご協力ありがとうございました。提供いただきました協賛金及び物品等は、両大会の広報活動や開催準備等に活用させていただきます。」とお礼を述べました。



オフィシャルスポンサー：NTT 西日本様

○協賛企業

区分	企業・団体名	提供内容	出席者
オフィシャルスポンサー	西日本電信電話(株)和歌山支店	協賛金500万円	江口 秀孝 和歌山支店長
オフィシャルスポンサー	(株)松原造園土木	花いっぱい運動用培養土	松原 進 代表取締役
	和歌山ヤクルト販売(株)	ヤクルト400	岩井 久 代表取締役
	(公社)和歌山県トラック協会	両大会に係る広報及び運送業務	龍田 潤三 会長
	(株)小池組	花いっぱい運動用プランター	小池 康之 代表取締役
	(株)熊野新聞社	日刊熊野新聞の紙面広告	寺本 一生 取締役副社長

●「ロボカップジュニア世界大会」に県内生徒が出場

・5月4日から5月6日にかけて、玉川大学(東京都町田市)で開催されました「ロボカップジャパンオープン2013東京」において、県立桐蔭高等学校1年生 中井 雅人さんと智辯学園和歌山中学校2年生 中尾 湊人さんのペア(チーム名：MonoChrome)が、ジュニアサッカーチャレンジAライトウェイト部門で見事準優勝!!に輝き、世界大会進出を決めました。



・中尾くんが機体の組立てなどハード部分を、中井くんが制御プログラムなどのソフト部分を担当して製作したロボットを携え、6月12日に、仁坂知事を表敬訪問した2人は、「ロボットは、もうここまで行ったら終わりだというのがなくて、改良をしていけばきりがないところが大好きです。世界大会では、ルールも少し違っているので、機体もプログラムも更に改良して挑戦しようと思っています。」と世界大会に向けての抱負を語り、仁坂知事は、「向上心がすごい。その気持ちをこれからも持ち続けてください。」と激励の言葉をかけました。

・6月26日からオランダにおいて開催された「ロボカップ世界大会」に、県内からは初めて出場し、残念ながら予選リーグで敗退しましたが、「ベストポスター賞」を獲得しました。※「ベストポスター賞」とは、ロボット製作過程等をポスターで紹介(英語によるプレゼンテーション)するコンテストで、同部門で一番の評価をされたものです。

●「わかやま塾」を開講しました

・将来の和歌山県を支え、世界に羽ばたき活躍する人材を育成するため、50歳未満の県内企業の経営者・幹部・後継者、公務員など100名の塾生が、経営者としての「志」や必要な知識を学ぶ「わかやま塾」が、6月21日にアバローム紀の国において開講しました。



・冒頭、塾長である仁坂知事が、「和歌山県の発展のためには若い人たちの力が必要。企業の後継者や社員の方々が守りに入って、そのままで大丈夫だろうなどと思っていたら、あっという間に世間から置いていかれてしまう。自分も変わりながら発展していくことが大事。そのためには、頑張ろうとする気概とこの世界で生きていくための周りを見るための知識が必要。この2つを若い人たちに知ってもらおうとわかやま塾を開講した。」と趣旨を説明しました。

- ・引き続き、塾生による自己PR 1分間スピーチ、塾頭である中野 幸生 中野BC株式会社 代表取締役社長の講義「人も企業も商品も変わらなければ捨てられる」、師範である小林利典 近畿経済産業局長の講義「世界経済情勢について～日本の位置付け～」を行いました。
- ・最後には、出席者全員による交流会を開催し、塾生同士の交流を深めていただきました。
- ・今後、下記のプログラムにより、全9回の開講を予定しています。

回数	日時	テーマ	講師	肩書き
第2回	7月19日	国の政治行政制度について ～政策決定のしくみ～	仁坂吉伸	和歌山県知事
		塾生1分間スピーチ		
		講義(心掛け編)	島 正博	(株)島精機製作所代表取締役
第3回	8月16日	地方行財政制度について	米澤朋通	前県総務部長
		塾生1分間スピーチ		
		プレゼン技術について	野口明美	(株)営業会議代表取締役社長
第4回	9月20日	金融政策について	本田悦朗	内閣官房参与
		講義(心掛け編)	一柳良雄	(株)一柳アソシエイツ代表取締役
第5回	10月18日	貿易・国際経済システムについて	仁坂吉伸	和歌山県知事
		講義(心掛け編)	勝本僖一	アクワイベ(株)代表取締役社長
第6回	11月15日	税制について	富屋誠一郎	大阪国税局長
		講義(心掛け編)	角谷勝司	(株)サンコー相談役
第7回	12月20日	エネルギーについて	澤 昭裕	国際環境経済研究所所長
		講義(心掛け編)	青山繁晴	(株)独立総合研究所 代表取締役社長
第8回	1月17日	知的財産権について	深野弘行	特許庁長官
		講義(心掛け編)	谷口博昭	(一財)国土技術研究センター 理事長
第9回	2月21日	インフラについて	仁坂吉伸	和歌山県知事
		卒塾式(修了証授与等)		
		中野塾頭講義	中野幸生	中野BC(株)代表取締役社長

※このほか第2回から第8回は知事放談会、第9回は交流会を開催予定です。

なお、プログラムは講師の事情等により変更となる場合があります。

●「第17回機械要素技術展」へ集団出展しました

・6月19日から6月21日にかけて、東京ビッグサイト(東京都江東区)において、県内中小企業が持つ製品や技術力をPRし販路開拓の契機とするため、軸受、ベアリング、ねじ、ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた「第17回機械要素技術展」に、和歌山県からは9社(うち4社が初参加)が集団出展しました。

・展示会への来場者数は3日間で計7万6千人。出展企業は、新製品の展示や溶接の実演を行いながら多くの商談が行われ、賑わいました。

○出展企業

企業名	所在地	主な業務内容	出展製品・技術力
アイエムティー(株)	印南町	精密研磨装置製造	試料研磨機
青野パイル(株)	橋本市	高密度パイル織物製造	MF軸シール
川本化成(株)	和歌山市	プラスチック製品の溶接	樹脂溶接技術
(株)環境テクノス	和歌山市	純水装置製造	超純水製造装置
(株)小松金属	和歌山市	鋳物部品製造	自動車用アルミ鋳物部品
金剛ダイス工業(株)	紀美野町	冷間鍛造金型製造	小径穴冷間鍛造金型
(株)坂口製作所	有田川町	工業用アルミ製品製造	アルミ溶接技術
桜井鉄工(株)	かつらぎ町	高圧継手製造	高圧継手
正和産業(株)	有田市	シール製品製造	高機能シール製品

●株式会社エムジェイテックが紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出

・このたび、株式会社エムジェイテック(本社：大阪狭山市)が橋本市の紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台用地」へ進出することが決定し、6月7日に協定を締結しました。これで、平成18年12月以降の企業立地件数は117件となりました。

○株式会社エムジェイテック

・平成4年設立、精密機械用としてのタイミングプーリ*を主力に製造しており、鉄、アルミ等の金属材料や樹脂等を素材とした旋盤加工をはじめ、精密部品加工や歯切り加工など精度の高い加工技術を備えています。

・今回、人材確保の優位性や交通の利便性を理由に、橋本市へ進出することとなりました。

※タイミングプーリとは、間隔の開いた並行する軸間の動力を伝導する際に、回転軸に取り付けられる滑車の役割を担う部品。この部品の外周にベルトを掛けて動力を伝導する。

●「発掘！穴場和歌山」募集中

・和歌山県全域で、知る人ぞ知る「穴場グルメ」や「穴場スポット」の情報を収集し、県のホームページ上で発信することで、観光客の周遊範囲の拡大と地域の魅力再発見を図ります。

・「珍スポット」「お気に入り！」などの穴場スポット、「こっそり知ってる」「もうすぐ名物！」などの穴場グルメの情報を募集しています。いただいた情報は、県のホームページ上に「穴場和歌山」エリアを設け、随時、投稿情報をアップデートし、カウンターボタンをつけて閲覧者が人気投票できるようにします。また、投稿者に抽選で「ふるさと和歌山わいわい市場」の特産品5,000円相当を30名様にプレゼントします。

募集期間は6月1日から12月31日です。応募方法等詳細については、「発掘！穴場和歌山」HPをご覧ください。<http://www.pref.wakayama.lg.jp>

●「わかやま夏の節電アクションプラン」を策定

・和歌山県では、行政、県民、事業者が一丸となって取り組む和歌山県スタイルの節電対策「わかやま夏の節電アクションプラン」を取りまとめました。

・対象期間は平成25年7月1日～9月30日の平日(8月13日～15日を除く)で、電気使用量の削減目標は平成22年同期比で使用最大電力9%以上の削減を目指すこととします。

・詳細についてはホームページをご覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/setsuden/h25plan.pdf>

□主な取組

1 暑い夏は家族そろって「ほんまもん体験」

○夏の昼間に家族で外出することによって、楽しみながら涼を得られ、家庭での節電につなげる

2 家族でお出かけ節電キャンペーン

○県立の博物館等施設4館で料金50%割引(7/17～8/30の平日)

○集客施設等への料金割引、イベント実施などの協力呼びかけ

3 県庁における節電への取組

○平成22年夏比15%以上削減メニュー

冷房設備28度の徹底、廊下の照明の70%程度消灯

課室内照明30%程度消灯、クールビズの推奨

エレベーターの一部運転停止、「毎日がノー残業デー」の展開

4 家庭に向けての節電の働きかけ

○平成22年夏比9%削減を目安

エアコン28℃設定の心がけ、無理のない範囲でエアコン停止・扇風機の使用
不要な照明の消灯

○わかやま「節電所」建設プロジェクトの実施

○家庭に「うちエコ診断員」の無料派遣

○住宅用太陽光発電設備補助事業の実施

○広報紙、テレビ、ラジオ等での広報活動

5 産業・業務部門に向けての節電の働きかけ

○平成22年夏比9%削減を目安

経済活動に支障が出ない範囲での自主的な節電協力の呼びかけ

○中小企業向け融資制度

6 「需給ひっ迫警報」発出時の対応

○県庁では空調設備等の停止

○テレビ・ラジオ等による周知



●平成25年度6月補正予算の概要

- ・6月11日から6月28日にかけて開催されました和歌山県定例議会において、53億8,352万円増額の補正予算案が可決されました。
- ・先月号でお知らせしました風しんワクチン接種緊急助成9億1,350万円などが含まれています。主な項目は以下のとおりです。
- 予防接種対策(風しんワクチン接種緊急助成)** 913,500千円
 - ・妊婦とその子どもを風しんから守るため、子育てを支援する緊急対策として、風しんワクチン接種に対する助成事業を実施
- 消防緊急デジタル無線整備** 3,530,365千円
 - ・消防緊急無線デジタル化に合わせ、消防機関の初動体制迅速化や情報伝達手段確保のため、無線の広域化・共同化を市町村と共同で実施
- 観光トイレ整備補助** 303,716千円
 - ・国体や観光で来県される方が利用するトイレの改修に重点的に取り組む「和歌山おもてなしトイレ大作戦」を拡充
- 国際観光推進** 18,020千円
 - ・東日本大震災以降低迷する韓国をはじめとした外国人観光客の来県促進を図るため、LCCの就航や円安の進展をチャンスと捉え、さらに誘客施策を講じる
- 海岸漂着物地域対策推進** 40,264千円
 - ・海岸の良好な景観や環境を保全するため、環境悪化や漁業への悪影響等を及ぼす大量の漂着ゴミ等について、市町村や地域の方とともに回収・処理及び発生抑制対策を実施
- 里山整備加速化(森林病虫害被害林再生対策)** 26,000千円
 - ・紀州材の需要拡大を目的に、公共施策の木造化や新製品の開発、新規用途の開拓を支援するとともに、森林病虫害による被害林の再生に向けた取組を支援

●「京都和歌山県人会」総会が開催されました

- ・6月16日、京都和歌山県人会第121年次総会・懇親会が京都市の京都平安ホテルにおいて、開催されました。
- ・総会で一連の議題が審議された後、京都大学の上横手名誉教授による「古典に見る紀伊国」と題した記念講演が行われました。上横手名誉教授はユーモアを交えながら、万葉集や平家物語などに登場する「紀伊国」について話しました。
- ・続いて行われた懇親会の冒頭、松尾会長は、「女性の力、若い力、ベテランの力、三つの力を結集して県人会を盛り上げていきたい。」と挨拶しました。
- ・会場内の一角には田辺市と有田市による特産品の紹介コーナーが設けられ、梅酒やみかんジュースなどが振る舞われ、懇親会を盛り上げました。
- ・最後は、全員で「ふるさと」と「みかんの花咲く丘」を合唱した後、万歳三唱で懇親会を締めくくりました。
- ・京都和歌山県人会の皆様方にはふるさと納税等でご協力いただいていることに、感謝申し上げます。



イベント情報(7月10日～8月10日)

これまで、毎月1市町村に絞って観光情報をお届けしてきましたが、今号から県内の主な行事等の案内をお届けします。機会を見つけて是非、和歌山県へお越しください。

期間	行事名	場所	問い合わせ先
7/13～ 8/25	くじらに出会える海水浴場	太地町・くじら浜海水浴場	太地町産業建設課 0735-59-2335
7/14	扇立祭	新宮市・熊野速玉大社	熊野速玉大社 0735-22-2533
7/14	那智の火祭	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
7/14	那智の田楽	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
7/14、15	高山寺夏祭り	田辺市・高山寺	高山寺 0739-22-0274
7/25	熊野水軍河内祭の御船行事	串本町・古座川河口	串本町産業課 0735-62-0557
7/26	日前宮薪能	和歌山市・日前神宮	日前神宮 国懸神社 073-471-3730
7/27、28	粉河祭	紀の川市・ 粉河とんまか通り	粉河祭保存会 0736-77-2511
7/27	熊野古道清姫まつり	田辺市・中辺路町	中辺路町観光協会 0739-64-1470
7/28	港まつり	和歌山市・和歌山港	港まつり実行委員会 073-432-3116
7/28 8/3、4	おどるんや 「紀州よさこい祭り」	和歌山市内各所	NPO紀州お祭りプロジェクト 073-426-4424
7/30	白浜花火フェスティバル	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511
7/30、31	茅輪祭	和歌山市・伊太祁曽神社	伊太祁曽神社 073-478-0006
8/1、15	かいなん夢風鈴まつり	海南市・物産観光センター	かいなん夢風鈴まつり 実行委員会 073-482-4363
8/3	紀州おどり「ぶんだら節」	和歌山市・和歌山城周辺	和歌山市紀州おどり 実行委員会 073-435-1234
8/3	串本まつり	串本町串本	串本町観光協会 0735-62-3171
8/9	千日詣	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
8/10	白浜花火大会	白浜町・白良浜	白浜観光協会 0739-43-5511



那智の火祭



粉河祭



河内祭りの御船行事

自然・風物情報(7月中旬～8月上旬)

次期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
7月中旬	ハウス栽培の「刀根早生柿」 出荷始まる	かつらぎ町・妙寺	J A紀北かわかみ 0736-42-5361
7月中旬	ハマボウ開花	御坊市・日高川河口南部	御坊市商工振興課 0738-23-5531
7月中旬	ハス開花	岩出市・ 植物公園緑化センター	植物公園緑化センター 0736-62-4029
7月中旬	ブルーベリー狩り	かつらぎ町・観光農園	かつらぎ町産業観光課 0736-22-0300
7月下旬	真夏にアジサイ満開	かつらぎ町・ 花園アジサイ園	花園生産物直売所 0737-26-0888
7月下旬	ボウズハゼの滝登り	古座川町・滝ノ拝	古座川町観光協会 0735-72-0645
7月下旬	梅の天日干しはじまる	みなべ町各地	J Aみなべいなみ 0739-72-4387
8月上旬	ウミガメが産卵	白浜町・白良浜海水浴場	串本海中公園 0735-62-1122
8月上旬	サルスベリ咲く	田辺市・新庄町	田辺市管理課 0739-26-9966
8月上旬	皇室に献上する刀根早生柿 の荷造り式	かつらぎ町・ J A紀北かわかみ	J A紀北かわかみ 0736-42-5361



刀根早生柿



ハマボウ



ハス

～編集後記～

6月初旬は降水量も少なく水不足も心配されましたが、6月半ば頃から本格的に梅雨らしい天候になり、6月21日には台風の影響もあり県南部は記録的な降水量となりました。一昨年の台風12号による災害も頭をよぎり心配いたしました。

ジュンプライドで有名な6月も終わりましたが、5月号でお知らせした県主催の結婚支援事業がたいへん好評です。6月20日現在で689人もの方に登録いただいているとともに、県主催イベントには定員をはるかに上回る応募があり、イベントを通じて既に4組のカップルが成立したそうです。

少子化の大きな要因の1つであると考えられる「未婚化・晩婚化」に歯止めをかけるために今年度から実施し、県内各地域において出会いの場を創設するとともに、企業等と連携した全県的な結婚サポート体制づくりを推進しているところです。

最近の調査によりますと、若者たち未婚者の結婚しない理由は、「自由や気楽さを失いたくない」、「結婚生活資金が足りない」等が挙げられますが、「適当な相手にめぐり合わない」とする方も多くいらっしゃいます。

人と人のめぐり合いは本当に「縁」というものがあり、なかなかこの人ならという人と巡り会うこともたいへんかと思いますが、この事業が「縁」を結ぶ機会となって、少しでも結婚への一助になればと思います。

本当に成果が現れるのは何年後かになりますが、次代を担う若者があふれる元気な和歌山を目指して、いろいろな施策に取り組んで行かなければなりません。

さて、梅雨明けが待たれますが、海に山に出かけるには絶好の季節が間もなく到来です。今月号からは、ふるさと歳時記に7月・8月中旬までのイベント情報を掲載いたしました。是非、ご家族と一緒にイベントを訪れていただき楽しんでいただきたいと思います。暑さの折からくれぐれもお体をお大事にお過ごしください。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2013年(平成25年)7月 NO.63

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022